

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ（坂井輪地域）

第2回ワークショップの結果概要（案）

2018年11月11日（日） 坂井輪健康センター

1 評価項目について**（1）評価項目全般**

- ・ 出された課題全てを解決できるわけではないので、何を目的にこの事業を行うのかが見えるようにしてほしい。

（2）項目ごとの意見**【①コスト（施設の維持・更新費）】**

- ・ 「コストを長期的（50年）に、どの程度削減できるか」とあるが、50年と言われても想像がつかないので判断ができない。30年程度でやっと想像ができ、検討できるのではないか。

【②安心・安全の確保】

- ・ 「子どもの安心・安全の確保ができるか」とあるが、具体性に欠けており、どの視点の安心・安全なのかがわからない。「学校までの通学路や公共施設までの安全確保ができているか」という項目も加えてほしい。
- ・ 子どもの安心・安全には触れているが、高齢者をはじめ他の世代が抜けている。どの世代も安心・安全は求められるのではないか。

【③子育て環境の充実】

- ・ 児童館は乳幼児・児童ばかりでなく中高生の居場所としても重要な施設である。「乳幼児から中高生までの幅広い層の居場所となっているか」、「中高生の居場所として機能しているか」、「子どもたちが健やかに育つ環境にあるか」といった評価項目も必要である。

【④地域の活性化、多世代共生・交流】

- ・ 高齢者が子どもに技能や経験を伝えることや、そのような場があることは、地域の活性化や交流につながっていく。「高齢者が今まで培ってきた技能や経験を地域に還元できる活躍の場が確保されているか」を評価項目に入れると良いのではないかと。
- ・ 施設削減ばかりだと夢がなくなってしまう。地域の将来性のために新たな施設をつくることで地域の活性化につなげる「地域の将来性」といった視点がほしい。

【⑤ 駐車場】

- ・ アクセスについては、駐車場スペースを確保すれば解決するということではない。20年後は今のような車社会であるとも限らないので、「駐車場の確保」に限定せずに、公共交通網の改善など「アクセスが充実しているか」といった視点で考えたい。

【⑥ 民間活用、空き家活用】

- ・ 民間活用、空き家活用については、民間側の意向や方針によることが大きく、行政側が評価することは難しいために、課題や評価項目に入れる必要はないのではないかと。
- ・ 「空き家の有効活用の可能性があるか」とあるが、全ての空き家について市が活用を検討しなくても良い。移住者に空き家に住んでいただくといった活用方法もあるだろう。

（3）追加すべき課題・評価項目

- ・ 施設の規模や機能について、市全体で考えなくてはならない公共施設もあると思う。「市全体の課題が解決できるのか」という視点も評価項目に追加してほしい。
- ・ 最適化の対象となる施設のなかで、コスト面でみると児童館は評価が低くなっているが、地域にとっては重要な役割を担っている。コストがかかっても維持する必要がある施設もあるため、「地域での役割の重要性」を評価できると良い。
- ・ 子どもの安心・安全や、子育て環境の充実といった若い世代を対象にした評価項目はあるが、高齢世代を対象とした評価の視点が抜けている。西川荘を更新しないという方針もあるので、「高齢者の生活の充実」といった評価項目も必要だろう。

2. 対策案について

（1）各案共通の意見

- ・ 各対策案について、評価項目（課題解決の狙い）のどこの項目を反映させたのか、分かるように案を示してほしい。
- ・ どの案も公共施設削減を前提とした案であるが、坂井輪地域は住民が多いのに対して他地域より公共施設は少ない状況である。削減ありきではなく、ある程度のお金をかけてでもより坂井輪の魅力が増すような計画も必要なのではないか。
- ・ 中期（10年程度）・長期（20年程度～）的取組は、その時の社会情勢で変わることだと思うので、現時点で中長期を踏まえた案を作成しなくても良いのではないか。
- ・ 20～30年後は、子どもの数がどう変化するのかわからないため、子育て施設の需要があるかわからない。現状では思いつかないような施設が必要になる可能性もある。将来に備えていろいろなニーズに対応できる柔軟性のある施設整備が必要だろう。
- ・ 利用率が低い施設については、廃止や他の施設と複合化するなど、今から整理することでコストを抑え、新たな施設を建設することに備えたい。将来的には小学校、中学校、公民館が複合した施設ができたると良いと考えている。
- ・ ひまわりクラブ第2、第3の借地を解消することは良いことだと思う。その場所に民設民営で児童館や保育園を設置して運営してもらえば、財政負担がだいぶ少なくなり良いのではないか。
- ・ 児童館は市内全体としても数が少ないが、利用者は多い傾向にある。その場合、新潟市全体としての整備方針や利用者の範囲の設定などをすべきで、坂井輪だけで考えられる問題ではない部分も出てくるのではないか。
- ・ 児童館や保育園については、民営化したほうがサービスも充実し利用しやすくなるのではないか。また、財政面でも市の負担が減るだろう。但し、両施設を複合化するのか、場所をどこにするのか等は、子どもが健やかに伸び伸び育つためにあらゆる想定をしながら今後検討していけば良いのではないか。
- ・ 児童館は、就学前の子と親のための場であると共に小学生の居場所にもなっているが、民営化することで、そういった児童館機能がなくなることが心配である。民営化になっても土日開館とこれまでの児童館機能が残ることを前提条件としてほしい。
- ・ 新通小学校の余裕教室を学校開放の位置付けで、地域利用が提案されているが、平日昼間の授業中に騒音を気にすることなく利用することが可能か、夜間や土日利用が可能なのかなどが心配である。校長判断といった学校の判断で利用規則が変わらぬよう、開館時間等の利用上のルールは事前に決めておく必要があるだろう。
- ・ 新通小学校の余裕教室にひまわりクラブだけでなく、ミニ児童館のようなものがあると良いのではないか。
- ・ 駐車場が少ないという課題について、どの案も改善されていないように思う。例えば、一箇所に大きな駐車場を設け、そこから定期バス等で主要施設までピストン輸送できるようになれば、駐車場問題が大きく改善できるのではないか。また、公共

交通利用促進の工夫も必要だと思う。

- ・ 西川荘が更新しない方針であるのならば、更新時期まで存続することなく 1～2 年で廃止したほうが経済負担の軽減になり良いのではないか。
- ・ コスト削減の必要性もわかるが、利用率が低くても残すべき施設はあるように思う。西川荘の入浴施設は、更新しない方針のようだが、高齢者の独り暮らしや年金生活者、生活保護受給者にとっては必要な機能だと思う。全ての案で高齢者の交流機能確保についてのみ検討されているが、入浴機能についても残すように対策を考えてほしい。また、入浴では、デイサービスなど民間施設を活用してはどうか。
- ・ 「子育て環境の充実」の評価項目に“一時預かりの場が拡充されるか”とあるが、どの案にも触れられていない。評価項目にあるのであれば対策案で触れてもらいたい。
- ・ 飲酒もできるような多世代が使える場がほしいという意見が出ていたので、案にも反映してほしい。

（2）各案に対する意見

【A案について】

- ・ 坂井保育園は狭いため、民間保育園を適地に誘致する案は良いと思う。坂井東小学校の近隣でなくなれば、保育園の送迎車の混雑も解消され、児童たちの安全確保にもつながるだろう。保育園の民営化は、財政面でも保育サービスの面でも良いと思う。
- ・ A案でもC案の中期的取組にあるように、空き家や自治会館を活用できるようにしてはどうか。
- ・ A案でもB案の長期的取組にあるように、2小学校の統合を案として入れられると良い。

【B案について】

- ・ 児童数の減少予測を踏まえて、長期的取組の約 20 年後に 2 小学校を統合するということだが、坂井輪地域は、若いファミリー層が移り住んでおり、児童が減少する可能性は低いだろうし、実際の児童数がどう変化するかは現時点ではわからないことだろう。今から統合の方針を決めずに、実際に児童が減少して対策が必要になった段階で考えれば良いのではないか。
- ・ 長期的取組として、2 小学校統合と中学校の一体型整備とあるが、立場が弱い子は弱い立場のままであり、小中一貫教育をすることで心的ストレスを感じる子もいるだろう。また、統合した小学校と分離新設校の教育サービスに差が出たり、分離新設校の児童だけ中学校から一緒になることで色々な摩擦が生まれる可能性もある。賛同はできない。
- ・ 坂井輪中学校の建替えに合わせて図書館や公民館を移設し、複合化することは良いと思う。

【A案・B案（共通）について】

- ・ 児童館を新通小学校敷地内に移転するのであれば、学校と児童館の出入り口を分けて、授業時間内でも利用できるような対策が必要である。
- ・ 児童館を新通小学校敷地内のひまわりクラブ第1に移転させるのは、グラウンドが狭いままになってしまう。移転させずにグラウンドを広げてほしい。さらに現在、駐車場も狭いことから、児童館が移転することでさらに混雑が予想される。現実的ではないと思う。
- ・ 児童館を新通小学校敷地内のひまわりクラブ第1に移転すると、利用料無料の児童館と有料のひまわりクラブが同じ敷地になり、有料のひまわりクラブの利用者が減少するのではないか。
- ・ 現在の児童館は坂井輪地域だけでなく、もう少し広範囲の子どもが通っている認識がある。新通小学校内に移転すると、他の学区の子どもが利用しにくくなる懸念がある。
- ・ 現在の保育園は駐車場がないために送迎の車が混雑して歩行者が危険である。移転することは良いと思う。
- ・ 保育園を適地に移転することで「駐車場の確保が期待される」とあるが、移転することで通園バスの検討や、送迎車の混雑が解消され、徒歩での通園がしやすくなることも考えられるので、長所を「アクセスの確保が期待される」とした方が良いのではないか。

【C案について】

- ・ 新通小学校のグラウンドは狭くて運動会も不便である。ひまわりクラブ第1を解体することでグラウンドが拡充されることは、体育の授業等の教育的視点、クラブ・部活動の視点からも良いことだと思う。さらに地域開放で野球、サッカーなどのスポーツが充実する可能性もある。
- ・ 坂井保育園が2階建てになって、園庭や駐車場スペースが確保されるのは良いと思う。また、もし、駐車場が確保できない場合は、通園バスを運行するなどに対応してほしい。
- ・ 坂井保育園は、市直営でコストをかけてまで2階建てにする必要はないと思う。市の方針として民営化を進めたいのであれば、その方向で進めてほしい。
- ・ 多くの施設について長寿命化の方針であるが、いずれ建替えが必要になるのであれば、早い段階で建替えをした方が、長期的にみればコスト削減につながるのではないか。
- ・ 児童館は坂井輪地域だけでなく、もう少し広範囲の子どもが通っている認識がある。坂井保育園に移転して複合化すると、坂井輪地域だけの児童館という印象が付き、他学区の子どもが利用しにくくなる懸念がある。また、児童館と保育園は役割や利用料が異なることから、複合化するのは難しいのではないか。

- ・ 児童館にあった子どもの居場所づくりの機能については、自治会館や空き家を活用して実施することだが、自治会の人たちが子どもの居場所づくりに取り組むのはノウハウもないし、公共の事業として違和感がある。また、自治会館がない自治会との差が生じてしまう。学校の空き教室など行政の施設を使うのが筋ではないだろうか。
 - ・ 児童館と西川荘が必要な施設であれば、児童館を西川荘がある場所に移転・新築し、児童館機能を西川荘に複合化するのも良いと思う。
- ・ **（3）追加・修正案**
- ・ 全ての案について、新しい施設ができるわけではなく、これまでの施設をまとめているだけで、変わり映えはしないと感じている。コスト縮減というのはわかるが、地域の魅力を向上させる新しい施設をつくる案も検討してほしい。
 - ・ 分離新設校はつくり、小学校、中学校、公民館を一緒にできると良い。公民館は手狭なのでもっと広いスペースが必要である。図書館は寺尾中央公園に移転してはどうだろうか。
 - ・ 公民館と児童館を複合化すれば、多世代の交流につながるのでは良いのではないかと。
 - ・ 児童館、保育園、西川荘の機能をあわせた、比較的大きい福祉系複合施設を西川荘がある場所に建設し、隣接地域からも利用可能な施設にするのはどうか。

3 対策案の評価について

【評価方法について】

- ・ 各対策案について、評価項目のどこの項目を反映させた案なのか、分かるように案を示してほしい。判定についても評価項目のどこを評価して「◎○△」にしているのか、判定の仕方が分かりづらい。
- ・ 評価表を見ると、△のないA案にしたいという市の意向がある様に思える。
- ・ B案はコストが大幅に削減され、判定が◎なのは、長期的取組で小学校の統合があるからだろう。将来、児童数がどうなるのかわからず、統合するか未確定な項目に対し、評価するのはいかななものか。

【③子育て環境の充実】

- ・ B案で「小中学校一体整備により、小中一貫的な教育サービスの提供が可能になる」とあるが、一貫的な教育をすることで、立場が弱い子は弱い立場のままで、心的ストレスが生じる児童・生徒もいる。○とすることは賛同できない。
- ・ 全案について「児童館が学校の敷地内や保育園に機能を移転することは、ひまわりクラブや保育園との差別化が図れなくなり、児童館の利用者が減少する懸念がある」といったデメリットを記載してほしい。

【④地域の活性化、多世代共生・交流】

- ・ これまでに、「子どもの発表会や交流の場としてホールがほしい」、「料理教室があると良い」という意見が出ているが、案に反映されているのか。全案◎の判定は疑問である。
- ・ 地域の活性化、多世代共生・交流について、余裕教室があるだけで◎になるのは違和感がある。評価項目で判断しきれない部分もある。どのように活用するかで評価が変わってくるだろう。

【⑤民間活用、空き家活用】

- ・ A案、B案で「商業施設近くへ児童館が移転することで、駐車場など、近隣商業施設との連携の可能性」とあるが、商業施設ありきで考えているようで違和感がある。また、新通小学校、ひまわりクラブ、児童館の3施設が利用することになると、小学校の行事の時などは利用できなくなることもあるのではないか。

4. その他

【検討の進め方】

- ・ 今後、市全域で公共施設マネジメントを推進していくのであれば、実施スケジュールやどの地域でどの程度公共施設を縮減することを目指すのかなど、まずは市全体の計画を示すべきではないか。
- ・ データによると、坂井輪地域はそこまでコストがかからず、良い評価の施設が多いようだ。それなのになぜ減らさなくてはならないのか、説明をしてもらい現状を把握した上で案の議論をしたい。
- ・ 坂井輪地域だけではなくもっと広い範囲で、民間施設との連携も含め、公共施設の再編のあり方を検討したほうが効率的で良いアイデアが生まれるのではないか。
- ・ 学校に余裕教室ができるから、複合化するといった場当たりの進め方ではなく、それぞれの機能の目的を効果的に果たす複合化を検討する必要があると思う。
- ・ 【意見聴取の範囲・方法】
- ・ 障がい者の方などワークショップに参加していない属性からも意見を聞いてほしい。しっかり意見を聞くことや検討を深めることを考えると、ワークショップ自体も3回では消化不良で終わる気がする。

5 質問事項

- ・ 保育園の整備では中期的取組として10年後を考えているとのことだが、各案の中期的取組の施設整備にはそんなに時間がかかるものなのか。
- ・ 児童館のコストが高いのは、何が原因なのかを知りたい。
⇒児童館は子育て支援施設の分類で利用料が無料の施設である。他の有料の施設と比較するとどうしてもコスト面で高くかかっているとみえてしまう。
- ・ 西区全体でみたときに、公立・私立の保育園で児童数はカバーできているのか。